

双葉郡各校の取組と子どもたちの今を伝える広報誌

ふたばの教育

vol.6
2016 秋号



特集

各校からのレポートでお届け！

ふたばの学校NOW

イベント報告：双葉郡8町村合同交流会

MOVIE /



関連する動画を
スマートフォンや
タブレットで見る
ことができます！

- ①COCOAR2アプリをダウンロード
- ②COCOAR2アプリを起動
- ③MOVIE /マークの写真にかざします

右のQRコードを読み込むか、「ココアル2」で検索してください
・iPhone, iPad : 「App Store」
・Android : 「Google Play」



各校からレポートで届け！



ふたばの学校 NOW

双葉郡の各校は、それぞれのまちで、避難先の地域で、日々の学びや行事に活発に取り組んでいます。子どもたちはふだん学校で、どんな様子で過ごしているのでしょうか？各校から集まった、笑顔や真剣なまなざしいっぱいの写真から紹介します。

FUTABA SCHOOL MAP



※富岡高校（三島長陵高校サテライト）、ふたば未来学園高校（三島長陵校舎）は、静岡県三島市で開校中
※浪江町立幾世橋小学校、請戸小学校、大堀小学校、苅野小学校、浪江東中学校、津島中学校は休業中

ふたばの教育を知る
キーワード

8 町村で取り組む「双葉郡教育復興ビジョン」

子どもたちの“自ら未来を切り拓く力”を育むため、双葉郡各校ではそれぞれの個性を生かしつつ町村や世代の垣根をこえてつながり、双葉郡独自の魅力的な教育を進めています

1 ふるさと創造学

8町村が連携し、地域を題材にした探究的な学習に取り組みます

2 地域との協働

子どもたちと地域の人びとの出会いを大切にします

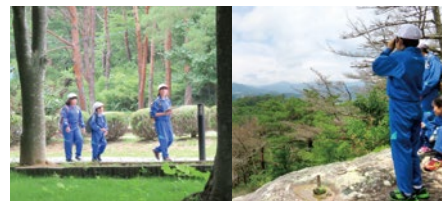
3 教育を通じた絆づくり

学校を中心に、町村や世代を越えてつながりをつくります

葛尾小学校

田村郡三春町大字熊耳字ハツ田213

「認め合い、自信をもってチャレンジしよう～大好き自分・大好き友だち・大好き学校・大好き葛尾～」を合言葉にみんなで楽しく活動しています。



▲1日目の午前中は山登りを、午後はキノコ岩まで班ごとにフィールドワークをしました。チェックポイントの課題をクリアしながら、全員、無事にゴールまで辿り着くことができました



▶1学期の終わりには葛尾村のゆるキャラに決まった「しみちゃん」が来校。子どもたちに大人気でした

MESSAGE

平成25年4月三春町要田中の校舎を借りて開校。葛尾幼稚園、葛尾小学校、葛尾中学校の子どもたちが、三春校(旧要田中)で楽しく学校生活を送っています。

7月14・15日に
郡山自然の家において
全学年で宿泊体験学習を行いました



▲2日目に行った草木染め体験。どんな模様にするか考えながら輪ゴムで縛り、マリーゴールドの液体につけました。思った通りの模様になったり、ならなかったりしましたが、それぞれ味のある作品に仕上がりました



▶1泊2日の活動の中では、それぞれに仕事が分担されました。1年生も初めての食事のあいさつを担当し、緊張しながらも元気に「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつができました



少人数ですが、全ての行事に力を合わせて
全力投球！毎日笑顔で頑張っています



▲▼地域の方々とのかつらお村民運動会で



▲卓球部、バトミントン部として中体連に出ています！



▲葛尾村の未来を考える「ふるさと創造学」。今年のテーマは、「人のつながりを深めるために大切なこと」



◀多くが自己ベストを更新した相双地区陸上競技大会

葛尾中学校

田村郡三春町大字熊耳字ハツ田213

“We'll never walk alone.”を合い言葉に、12名の生徒が力を合わせ、総数以上のチームパワーを発揮できるように頑張っています。



MESSAGE

今年は10月にアメリカ・アトランタ修学旅行の一大イベントが計画されています。ホームステイもあり、「人とのつながり」をテーマにした学習や、交流に向けた準備を進めています。

浪江・津島小学校

二本松市下川崎字三島台1番地

「なりたい自分に向かって 生き生きと学ぶ子ども」を目標に、力を合わせ頑張っています。児童数両校あわせて8名です。

MESSAGE

平成24年から、「ふるさとなみえ科」の学習を実践しています。小さな学校で大きな感動を実現しています。



▲課題を明らかにするためのカード整理・分析



▲高学年で学ぶ浪江の伝統工芸大堀相馬焼

まるごとふるさとなみえ博物館 看板完成!! (平成28年8月31日)

総合的な学習「ふるさとなみえ科」では、昨年は「なみえっ子カルタ」を作成したり、地区に伝わる「かぼちゃまんじゅう」や「三匹獅子」を調べたりと、ふるさとの伝統文化や人とのつながりを大切に学習を積み重ねてきています。

今年は低・中学年は食をテーマに浪江の「紅葉汁」と二本松の「ざくざく」、高学年は伝統工芸の大堀相馬焼と二本松の桐箆筒等を学習しています。県立博物館学芸員の方のご協力を得て、それらを博物館にしまとめていく予定です。



浪江中学校

二本松市針道堤崎25

全校生徒17名。小さいながらも生徒会活動が盛んで、スポーツ大会を実施したり、地域の事業所に花を届けたり意欲的に活動しています。



MESSAGE

みんなで育てた花を、消防署などの事業所さんに届けました。みなさん喜んで飾ってくださいました。(浪江中学校生徒会)

「楽しくやっちゃえ!!」 浪江中学校生徒会活動

▶保健・給食委員会は、食品の中にふくまれている脂質の量を調べました。調べた結果はビデオにまとめて楽しく発表しました



▲▶春のスポーツ大会は、生徒会が種目を考えます。今年はTボールや、クイズ付き長縄跳び、三人四脚や馬跳びを取り入れたリレー競争で盛り上がりました



▶応援団は生徒数の関係で2人だけ。それでも立派にバドミントン部を送り出しました



浪江高校

本宮市高木字井戸上45 本宮高校内

浪江高校は、本年度創立90周年を迎えるとともに、休校前最後の1年です。生徒14名で、何事にも積極的に取り組んでいます。

MESSAGE

生徒たちは、自分たちを支えてくれる方々への感謝を忘れずに、卒業、そして休校までの時間を大切に過ごしています。(浪江高校教諭 鈴木知洋)



休校前最後となる公開文化祭「青浪祭」を開催しました

14名だけでの文化祭に当初不安もありましたが、多くの方々に助けられ、当日はたくさんのお客様に会場いただくことができました。生徒たちにとっては、充実感や達成感でいっぱいの思い出になりました。



▲先輩から譲り受けた看板の前で、浪江焼麺太国の皆さんと



▲多くの地域・保護者の方々の来場に感謝です



◀▲ガールズバンドの演奏

浪江高校津島校

二本松市郭内2-347 安達高校内

創立68年目となる今年、浪江高校津島校は安達高校内のサテライトで5度目の春を迎えました。3年生12名で休校のその日まで頑張ります。

MESSAGE

津島校生は、多くの方から支援を受け、他校では、決して味わえない貴重な体験や思い出の1ページを創っています。



「津島の宝物」をいつも大切に毎日を送っています



▲浪江町津島地区にある本校舎と記念碑



▲校外学習でNHK福島放送局を訪問



双葉南・双葉北小学校

いわき市錦町御宝殿56

本校の重点目標は「本気で学び みんなで伸びる」です。児童相互の関わりを大切に、一人一人の学ぶ意欲を高めたいと考えて設定しました。

MESSAGE

休み時間には、外に出て、みんなで元気に鬼ごっこをしたり、体育館でゲームをして汗をかいったり、遊ぶときも本気です！

本気で学び みんなで伸びる

本年度は県の「グローバル人材を育む小中連携英語教育推進事業」推進校として、小中連携による英語教育に取り組んでいます。さらに新しい試みとして、「田んぼの学校・畑の学校」交流促進事業の指定を受け、いわき市立渡辺小学校と一緒に米作りを行っています。



▲いわき市立渡辺小学校と合同で田植えを行いました



▲幼小合同の運動会。福島大学の学生さんに参加いただいています



▲ALTの先生との外国語活動。ICTも効果的に活用しています



▲サポートセンター「ひだまり」にて、「野に咲く花のように」を歌いました



▲いわき市民プールでの水遊び・水泳学習

双葉中学校

いわき市錦町御宝殿56

本校の特色は、社会で活躍する様々な方を招く「職業人講話」です。地域や世界で活躍する人の話を聞き、自分たちの将来の夢につなげています。

MESSAGE

平成26年4月よりいわき市錦町で再開しています。全校生12名ととも仲良く、行事などで力を合わせて頑張っています。仮設住宅訪問や職場体験など、地域とのつながりは震災前より強くなりました。



▶総合的な学習の時間の研究テーマ「ふるさとについて考えよう」の一環で、南台仮設住宅にある「サポートセンターひだまり」を訪問



▼お年寄りから双葉町の話を知ったり、一緒にゲームをしたりして交流しました



毎年恒例となったサポートセンターひだまりでの交流



▲職場体験は双葉町役場で5日間実施しました

双葉高校

いわき市中央台飯野5-5-1 いわき明星大学内

進路実現に向けた活動と並行して、休校前最後の双高生として様々な活動にも取り組んでいます。生徒数11名。

MESSAGE

今年のメインは何と言っても休校記念事業。双高の伝統を受け継ぐため、大先輩方とも交流を図っています。
(双葉高校教諭 有村文美)



休校記念事業、夏の高校野球全校応援や「校歌・応援歌を歌う会」で同窓生とも交流。11月5日開催「双高のつどい」での震災後の歩みを振り返る発表に向けた準備も進めています。



岡山の修学旅行生との交流会

▼修学旅行の一環で福島県を訪れた岡山南高校が、双葉・双葉翔陽両校のいわき明星大学サテライトを訪問。班別活動や踊りを一緒に楽しみました！



縄文杉との出会い

▼▶世界自然遺産である屋久島の縄文杉。片道11キロ約6時間の長い道のりを歩き、ついに縄文杉にたどり着きました。雨の降る中、みんなで登り切ったことは大きな自信となりました



▶双葉翔陽の生徒が震災時のことやサテライトでの学校生活などを話しました。震災の様々な体験を語り広めることは私たちの重要な使命と考えています



双葉翔陽高校

いわき市中央台飯野5-5-1 いわき明星大学内

来年3月の休校前最後の卒業生となる3年生12名は、明日への翔陽高校のため精一杯の活動をしています。



MESSAGE

生徒たちは進路実現に向け日々努力を重ねています。そして笑顔を絶やさず二十四の瞳はいつも輝いています。
(双葉翔陽高校校長 菅野利彦)

熊町・大野小学校

会津若松市河東町大田原村中186

全校生36名、あいさつや読書に力をいれて取り組んでいます。日本一の学校を目指すために、一人一人が意識しながら生活しています。



▲熊本「熊遊隊」のみなさんと

MESSAGE

ふるさと大熊町に誇りをもち、感謝の心を忘れず、夢の実現に向けてたくましく生き抜く子どもをめざしています。(熊町小学校長 堀本晋一郎、大野小学校長 加村育夫)

幼・小・中 合同「顔晴ろう!大熊っ子!大会」

単なる運動会ではなく、遠く故郷を離れていても、大熊町に帰る日まで互いに助け合いながら頑張っていこうという気持ちを奮い立たせていくことをねらいとした「顔晴ろう!大熊っ子!大会」。幼・小・中合同のリレーや大熊盆踊りに加え、大妻女子大による大会ポロシャツの寄贈や大熊町出身の陸上選手である秋本真吾選手との交流もあり、子どもたちが元気いっぱいに活動する姿が見られました。



▲6年生とボランティアの方々による大熊盆踊りの演奏



大熊中学校

会津若松市一箕町大字八幡字門田9-2

平成28年度の大熊中学校キャッチフレーズは「夢と感動のある大熊中学校」です。



MESSAGE

生徒がたくさん夢を持ち、そして、学校にたくさんの感動があり、生徒が大きく成長する1年でありますように。

①大きな夢を ②大きな感動を ③くじけずに ④まっすぐに



▲ボランティア終了後の満足げな笑顔



▲集会に臨む真剣なまなざし



▲理科の実験で慎重に取り組む姿



▲体力向上で流す、すがすがしい汗



▲壮行会で力強く応援する応援団



▲ドイツからの支援に笑顔で感謝

川内中学校

双葉郡川内村大字下川内字宮渡29

一人一人がとても個性豊かです。将来の進路を見つめながら、切磋琢磨し協力し合って日々成長しています。



MESSAGE

帰村しすでに5年目です。15名の生徒たちが、元気に仲良く充実した中学校生活を送っています。(川内中学校長 本間義和)



ふるさと川内で、みんな仲良く元気に頑張っています!



▲笑顔あふれるマイ弁当の日



▲歯磨き指導の一コマ



▲職場訪問では風力発電所に



◀中体連に向けた壮行会で



▲駅伝大会でベストを尽くした自慢の選手たち

川内小学校

双葉郡川内村大字上川内字沼畑125

2学期に転入生を迎え、36名になりました。今年も「復興子ども教室」を柱に、ふるさと創造学に計画的に取り組んでいます。

MESSAGE

4校合同水泳記録会でスタートした2学期、マラソン大会、学習発表会、ふるさと創造学サミットと今年も地域とともに成長していきます。



▲富岡一・二、葛尾、川内4校合同水泳記録会。新種目の4校の絆リレーは大盛り上がりでした

地域とともに伸び伸び元気に学んでいます!

▶本校生の提案から生まれた「かわうちの郷かえるマラソン」。全校生が走り、スタッフとして活動しました



▼工夫いっぱいの朝の会。6年生が英語で問いかける初めての試みです



▲復興子ども教室で長崎市長に川内村の復興を紹介

◀3・4年生の田植え。10月には稲刈りをします

富岡第一・第二小学校

田村郡三春町大字熊耳字南原94

「笑顔・元気・前向き・感謝」4つのキーワードで生活しようを合い言葉に頑張ってます。児童数15名。

富岡第一・第二中学校

田村郡三春町大字熊耳字南原94

それぞれの夢の実現に向けて、「学習」や「部活動」等に精一杯頑張っています。生徒数18名。



富岡高校

福島市飯坂町字後畑1 福島北高校内

休校前の最後の年を迎えました。有終の美を飾ることができるよう、生徒62名で部活動にも勉学にも精一杯取り組んでいます。



MESSAGE

いよいよ三学年のみの在籍となりました。生徒1人ひとりが高校生活に悔いを残さないように、部活や勉学に精一杯取り組んでいる姿が印象的です。(富岡高校長 山崎雅弘)

三春校でのあらたな伝統 幼・小・中合同運動会

5月28日に「幼・小・中合同運動会」を開催しました。昨年度は田村市の陸上競技場と総合体育館で、今年度は初めて三春校グラウンドでの実施となりました。幼稚園生、小学生、中学生全員そろうの行事は、他に「学習発表会」があります。年に2回、三春校の校舎で学ぶ子どもたちが互いに支え合いながら運動や発表を行う姿は、三春校ならではのあらたな伝統になっています。

MESSAGE

富岡町立の幼稚園、一小・二小、一中・二中の1園、4校の子どもたちが、元気に三春校で学校生活を送っています。今年は、富岡町のキャラクター「とみっぴー」も時々来校し、行事等をもりあげてくれています。児童生徒みんな「とみっぴー」の来校を楽しみにしています。(富岡第二小学校長 渡邊かほる)



▶今年も、千葉大学の学生さんたちが駆けつけて大いに盛り上げてくれました。鯉のぼりリレーや神旗争奪戦など、震災前に小学校で実施していた種目も今年から復活し、参観された地域の方々も大変懐かしんでいました



▲三春校には、多くの皆様のご支援やご協力を頂いています。6月20日には、Googleの大勢の皆さんの協力で、中学校の特別授業もありました



富岡一小・二小

富岡一中・二中

祝・バド部インターハイ優勝！



▲猪苗代サテライトで活動しているバドミントン部がインターハイで優勝しました



▶福島北サテライトで活動しているサッカー部、ゴルフ部、静岡県の三島長陵高校に在籍するアカデミー福島の生徒も、負けないように、頑張っています



富岡はひとつ

◀毎年夏と冬の2回「富高の集い」を行い、各サテライトの生徒が集まり親睦を深めています



◀今年度の夏の集いは東京方面に2泊3日で行い、宇宙飛行士の山崎直子さんと本校OB、OGの講演、演劇鑑賞、大学キャンパス見学、職場体験などを行いました

富岡養護学校

いわき市平馬目字馬目崎61

福島県立聾学校平分校内に仮設校舎を設け5年。41名の子どもたちは将来の自立に向け、日々様々な学習や体験的な活動に取り組んでいます。



MESSAGE

活動の様子を、Facebookでもお伝えしています。
<https://www.facebook.com/tomioka.yougo/>

地域と共に、生きる はぐくむ 育ち合う



▼ハローワークから講師を招いて行った進路指導講演会



▲▶みんなでゲームを楽しんだPTA学部委員会主催の親子レクリエーション。昼食は流しそうめんでした



▲◀特別支援学校作業技能大会での作業製品プレゼンテーション

🏫 榎葉南・榎葉北小学校

いわき市中央台飯野5-6-1

全校71名、いわき市中央台の仮設校舎で「あおいくま」の達成を目指し、前向きに頑張っています。



MESSAGE

仲間を大切に
して、本気で活動し
ながら絆を深めま
しょう。
(榎葉北小学校長
秋元拓也)



MESSAGE

仮設校舎で最後の1
年、友情や感謝の気
持ちは深め、楽しい学
級づくりに取り組ん
でいます。(榎葉南
小学校長 鈴木孝彦)

いわきで最後の運動会!ベストをつくせ!ならはっこ!



- あ いさつは目をみて元気よく
- お たがいのよいところをみつけよう
- い じめはしません、させません
- く じけずさいごまでがんばろう
- ま なんてんとるまでなんかいも

6年生におんぶしてもらったよ!



▲5年生の宿泊活動では猪苗代に



▲6年生がいわき市陸上競技大会へ参加しました



▲今年度入学した5人の元気な1年生。1年生を迎える会では、たてわり班でゲームを楽しみました

🏫 榎葉中学校

いわき市中央台飯野5-6-1

現在明星大学敷地内の仮設校舎で開校中。限られた環境の中で、今ここでできることを精一杯がんばっています。



MESSAGE

スローガンは change & challenge。
全校生56名が未来を見つめ、夢に
向かって元気に歩んでいます。来年4
月本校舎への帰還の予定です。
(榎葉中学校長 荒木幸子)



榎葉町にある本校舎。
ICT機器も充実しています

私とまちの未来予想図 「10年カレンダー」づくり

ふるさと学習の一環として、全校生徒で自分と町のこれからの10年を予想する「10年カレンダー」を町復興推進課の協力を得て制作しました。9月に行われた町政60周年記念式典で3年生2人が発表し、大きな拍手をいただきました。



▲▼班に分かれて自分の夢や希望とまちの未来予想を話し合い。「榎葉町が将来的にこんな町になっていたなら…」「自分たちができることは…」



榎葉中のスローガン
「change&challenge」を刻んだ鉛筆。
進級祝いや運動部で県大会出場を
果たした生徒に授与されます。



▲毎日30分は全校生徒で基礎体力づくり。体力は目に見えて向上しました



▲3年生が取り組む榎葉天神太鼓。文化祭「ゆずり葉祭」で披露します

🏫 広野小学校

双葉郡広野町中央台3-1

1年生が2クラス編制となりました。どの学年も笑顔いっぱい。元気に生活しています。児童数142名。

MESSAGE

児童一人一人に、夢を実現できる力をつけて
いってほしい。自分の夢をかなえるためには、目
標に向かって毎日の勉強や体力づくりを頑張る
こと、あいさつや思いやりの心など人とのかわ
りを大切にする、ことが大事であると思います。
(広野小学校長 福羽由佳子)



未来はいつも現在にあります

日々の学びに行事に真剣に元気いっぱい取り組んでいます。



学校・家庭・地域で「つなぐ教育」の推進



▲広野町カナダ派遣研修に参加した2年生



▲1年生の総合学習では広野町を舞台に映像制作に挑戦



▲3年生のインスタントシニア体験

🏫 広野中学校

双葉郡広野町中央台3-1

広野町での学校再開から4年。明るい挨拶と無言清掃の伝統を守り、学習や部活動に熱心に取り組んでいます。生徒数68名。

MESSAGE

優しい心を持った笑顔の素敵な生徒たちです。今年の目標は表現力UP!言葉、歌、絵画、そして身体を使った表現など、自分の思いをきちんと伝えられる生徒になってほしいと願っています。(広野中学校長 星秀美)



▲職業体験学習中の2年生

🏫 ふたば未来学園高校

双葉郡広野町大字下浅見川字築地12

開校2年目を迎え、双葉郡出身の生徒たちが町村の垣根をこえて、先進的な学びに取り組んでいます。生徒数282名。

MESSAGE

本校では、2年生全員が、原子力災害からの復興をテーマに地域の課題解決にあたる「未来創造探究」に取り組んでいます。
(ふたば未来学園高校教諭 遠藤恵)

地域の課題と向き合う 「未来創造探究」

「福祉と健康」「原子力防災」「再生可能エネルギー」「アグリビジネス」「メディア・コミュニケーション」「スポーツと健康」の6つの研究班に分かれ、海外などの先進事例に学びながら、福島復興と日本・世界の課題を解決するための探究学習をしています。

▼「再生可能エネルギー探究班」では、太陽光発電、振動発電、藻を原料とした油化、海水利用発電などを研究



▲スポーツを通じて、福島の地域・社会を豊かにする方策を探究する「スポーツと健康探究班」



◀「福祉と健康探究班」は、双葉郡町村の各福祉課など多くの方のお力をお借りして、現在と将来の課題に向き合います



\ MOVIE /
COCOAR2アプリをダウンロードし、\ MOVIE / マークのついた写真にスマートフォン等をかざすと、動画が流れます
アプリのダウンロード方法は表紙を参照ください
COCOAR2

ふたばの子どもたちが集った 笑顔記念日 ☺

友だちできたよ！
双葉郡小学校絆づくり交流会

information
開催日 8月10日(水)
場所 ビッグパレットふくしま
参加者 児童149人、教職員他158人



優しさを込めて
リデザイン
アートクラス

▶教室にあるものを見つめ直し、リデザインに挑戦。使う人の気持ちになり、優しさや思いやりが込められたアイデアが披露されました

講師を務めたデザイン
チーム制作の映像



笑顔まるかじり
フードクラス

▶福島県産の野菜や果物を使って、タルトをデコレーション。作って楽しい。食べておいしい。プロ顔負けのフルーツタルトが完成しました



体を動かし
心を動かす！
パフォーマンスクラス

◀夏の思い出のワンシーンをドラマとして再現。体を動かし、心を動かし、全員が全身を使い、夏の一幕を演じました

Fukushima
Hot Hot Hot！
音クラス

◀身の回りの物を使って音楽を制作。空き缶やビンなどを使って出した音を組み合わせ、世界にひとつだけの音楽の完成です



町村の垣根を越えたつながりをつくろうとこの夏、小学校、中高それぞれで8町村合同交流会を開催しました。いずれも双葉郡内の教職員が企画運営に携わり、小学生はミニ運動会、中高生は各分野のプロに学ぶワークショップで他校の友達と交流。離れていても同じふるさとを持つ仲間同士の「笑顔記念日」となりました。

町村混合チームで
ミニ運動会！

▼班のみんなで手をつないで前に進め！



▼中に入ったピンポン玉を落とさないように



◀班対抗のじゃんけんリレー。負けた人は「助けてー」と仲間を呼び、班のみんなは走っていかねばなりません。何度も走る班も、なぜだかみんな笑顔に



ランチタイムも
楽しく交流

▼ポップコーン、わたあめ、かき氷、プラ板づくり
にスイカ割り。昼食時間のお楽しみ屋台も大盛況



▲閉会式では何人かの児童が感想を発表
「はじめドキドキしたけど楽しかった」「友達ができてよかった」

創って 伝えて つながって 双葉郡中高生交流会 FUTABA 1DAY SUMMER SCHOOL

information
開催日 8月17日(水)
場所 ふたば未来学園高校
参加者 生徒157人、教職員他126人



夏の交流会の1コマから

中高生交流会



マスカットも
いるんじゃない？

テーブルいっぱいの
果物と野菜。
何をつくったのでしょうか？

のぞいてみてー。

新しくできた友だちと。
どんなことを
話したのかな。



小学校絆づくり交流会

🌀 P14-15で8月に行われた双葉郡8町村合同の交流会のようすを紹介しています！

誌面への感想・意見をぜひお寄せください

双葉郡全体の取組や本誌に関するお問い合わせ

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 事務局

〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地

福島大学人間発達文化学類支援室内

電話：024-504-2886 / FAX：024-548-3181

Eメール：futabaeduc@fcs.ed.jp

<http://futaba-educ.net/> [双葉郡教育復興ビジョン](#) [検索](#)

各町村の学校・教育に関するお問い合わせ

浪江町教育委員会 … ☎0243-62-0301

葛尾村教育委員会 … ☎0240-29-2170

双葉町教育委員会 … ☎0246-84-5210

大熊町教育委員会 … ☎0242-26-3844

富岡町教育委員会 … ☎0120-33-6466

川内村教育委員会 … ☎0240-38-3805

楡葉町教育委員会 … ☎0240-26-0808

広野町教育委員会 … ☎0240-27-4166

「ふたばの教育」は、双葉郡各校の取組と子どもたちの今を伝える広報誌です。
8町村教育委員会を中心に構成する「双葉郡教育復興ビジョン推進協議会」が発行しています。

ふたばの教育 vol.6 (2016秋号) 2016年10月15日発行 | 発行：福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会
編集：広報誌編集委員会 (委員長：富岡町立富岡第一中学校長 阿部洋己) | 執筆・写真 (P3-13)：双葉郡内各校
撮影 (P14-16)：フィリップ・ジェリーマン (双葉町外国語指導助手)、アンソニー・バラード (双葉町外国語指導助手)
映像編集：門馬徳夫 (浪江町立浪江中学校教諭) | デザイン・制作：青柳徹 | 協力：中尾友子